

2021年5月13日

各位

会社名 玉井商船株式会社
代表者名 代表取締役社長 佐野展雄

中期経営計画(2021年度～2023年度)の策定について STEP (Sea Transport for Environment and People) Forward 2023

玉井商船株式会社(社長:佐野展雄)は、2021年度を起点とする「中期経営計画(2021年度～2023年度)」を策定いたしましたのでお知らせいたします。

<経営理念>

国際社会に認められる企業として、時代の強い要請でもある ESG と SDG's に真摯に取り組み「海上輸送を通じて社会に貢献する」

- *安全がすべてにおいて優先されること
- *地球上に偏在する資源・物資・製品を必要とされる場所に輸送することにより
人類の生活向上に貢献する
- *上記の目的に適う輸送を、長期的視野に立ち顧客のニーズに迅速・的確に対応し
且つ可能な限り効率的・経済的に行う
- *株主と社員へのリターン充実を図り、企業価値の向上を目指す

<基本方針>

創業100周年(2029年)に向けた、安全安心、働き甲斐のある職場環境の下、安定的な収益基盤の確立を目指す

1. 現在の貨物・航路・顧客の安定的な契約確保と新規航路(貨物)の開拓

【外航海運業】

- ① 変動幅の大きなマーケットに配慮し、顧客のニーズに合わせ、収益の安定した船体・貨物・航路のバランスの取れた営業を永年培ってきた太平洋と大西洋を結ぶトランスオーシャン輸送の更なる充実により目指す
- ② 環境に配慮し、国際・国内規則に対応し、長期的視野に立った船隊の確保整備に努める

【内航海運業】

- ① 現在運航する船舶、顧客の航路に寄与する新規カーゴの獲得に努め、経済的かつ効率的な航路の確立に努める
- ② 船員の教育訓練及び継続的採用と船員確保に努め、最新の海技の習得・伝習を図り、船舶管理業務に注力し、管理船舶の増強による安定的収益の確保を目指す

【本山パインクレスト】

保有物件の老朽化に対する補修・修繕に積極的に取り組み安定的な収益の確保に努める

2. 成長に向けた資源投資

- A) 代替、純増の外航船建造及び短・長期備船計画の検討・立案及び実行
- B) 新入社員採用、現社員育成・自己研鑽の計画及び実行
- C) 期末報告迅速化と経営戦略が立てやすい経理システムの計画及び実施の検討

3. 安全運航・環境保全

A) 安全運航

内・外航乗組員に対する徹底した安全教育指導・安全管理技術の継続的改善と海技の伝習

B) 環境保全

- ①海陸一丸となった、環境対策の強化（乗組員の環境汚染対策教育、廃棄物の処理）
- ②温室効果ガスの排出対策と低 GHG 排出機関への対応準備
 - a) 低炭素燃料を使用する等、新技術機関搭載船舶の検討
 - b) 減速航海の深度化
- ③シップリサイクル条約・規則に則った準備、安全対策と教育
- ④今後の新規則・規制に検討・対応・施行

<今後 3 年間の経営目標>

過去の 3 年間は、2018 年度こそ経常利益を達成したが、2019 年度、2020 年度とマーケットの悪化と共に経常損失となり、更にはバラストウオーター排出規制に伴う各船の装置搭載に伴う設備投資が 2019 年度と 2020 年度(各年度 2 隻)に集中し、キャッシュフローの悪化を招いた。

今後の展開として、マーケットも漸く安定的な回復軌道に戻りつつあり、コロナ禍後の中国をはじめとした世界経済回復、2021 年度からの船舶竣工量の減少、更には高 GHG 排出船等のスクラップ化促進も後押しして堅調に推移するものと考えられる。よって今後 3 年間の経営目標を次のように設定する。

年度	営業収益(百万円)	営業利益(百万円)	経常利益(百万円)	ROE (%)
2021	5100	200	150	2.3
2022	5300	250	200	3.0
2023	5500	300	250	3.7

年度毎に上記の営業収益、営業利益、経常利益の達成を今後の 3 年間の経営目標とし、各年度終了後前年度の数値検証と次年度の数値予想の改定を行う。

以上